



**田村栄子**  
久喜市議会議員  
総務財政市民常任委員会副委員長・予算決算常任委員会副委員長・広報委員会副委員長・ICT委員  
静桜里親の会会長  
久喜市栗橋婦人会会長  
久喜市放課後子ども教室（栗橋南小）実施委員  
大阪府豊中市出身 武庫川女子大学卒業 同大学助手  
大妻女子大学講師歴任  
南カリフォルニア大学研修

一里塚

無所属  
久喜市議会議員

田村栄子

討議資料

2021年(令和3年)11月

第50号

久喜市議会  
会派フェニックス

連絡所〒349-1117 久喜市南栗橋 5-11-7 TEL 0480-52-8240 FAX 0480-55-1124

<https://ameblo.jp/tamura-eiko-kuki/> <http://tamura-ek2.matrix.jp/>

皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症が拡大から一旦収束するようなか、定例議会には全議員がマスク着用で臨みました。再びウイルスが猛威を振るわないよう、一層の注意が必要となります。皆様のご健康を祈ります。

新型コロナウイルス感染症の影響で市の一般会計予算は追加の補正予算が加わり、国からの給付金、支援金、助成金等を加え歳入歳出夫々539億6,969万4千円になりました（令和3年4月時点では約525億円でした）。

追加の補正予算は、新型コロナ感染症自宅療

養者への支援事業として約1,192万円（第7号補正予算）、外出自粛等により影響を受けている事業者への支援として外出自粛等影響事業者応援給付金給付事業6,750万円です（第8号補正予算 左下欄記）。

## 感染再拡大対策を早く！ 油断しないこと

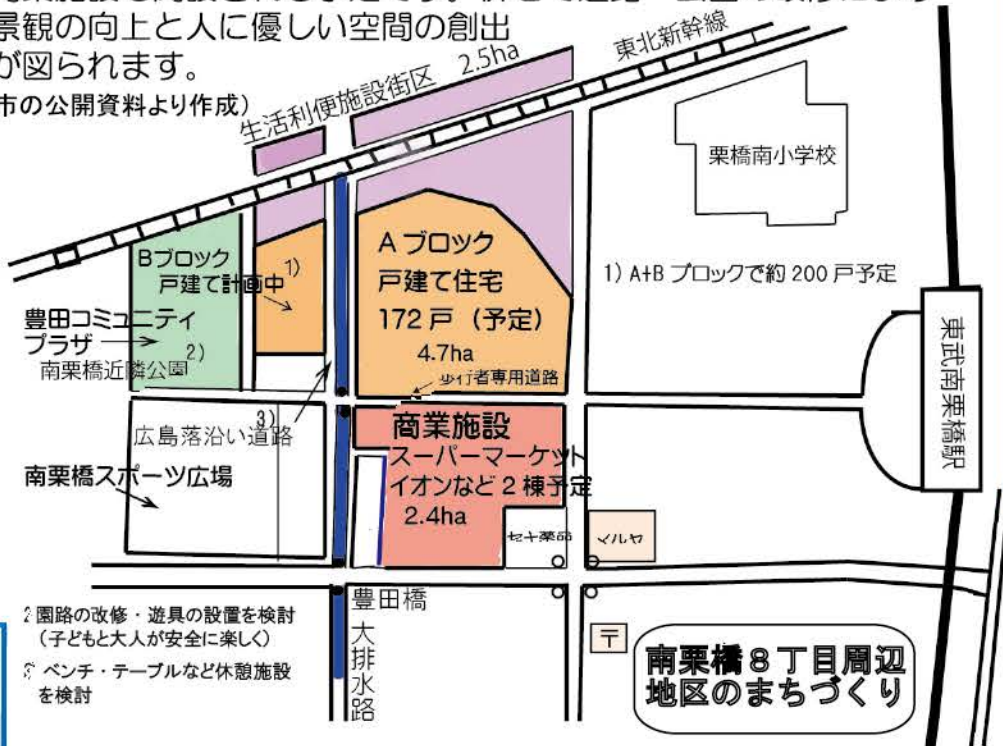
新型コロナ感染者数は左図のように今年になって増加し特に8、9月に急増し10月に感染者の発生は激減しました。東京を含め日本全国同じような傾向でした。今後も少ないまま推移するのか再増加し第6波感染がくるのか誰も予測できません。感染者の発生が減った原因は何か、科学的に解明できなければ有効な対策も打てません。原因としてウイルスの自壊説、ワクチン効果説、人々の感染対策等々推測はありますが、確証が得られていないのが現状のようです。国・地方自治体・研究機関が一丸となって原因の究明を行い、早く感染再拡大の抑制策を打ち出すことを願います。今言えることは、決して油断しないこと、感染症対策を守ることではないでしょうか。

## 基礎研究の必要性・重要性 日本はもっと力を入れて

今の新型コロナ対応ワクチンはメッセンジャーRNA（mRNA）に基づくワクチンが重要な役割を担っています。カリコ博士（米国）が地道に行っていた基礎研究がワクチン開発にタイミング良く結びついたものです。基礎研究は時間もかかり直ぐに成果に結びつくことが少ないのですが、日本としても予算を投じて今後注力すべきです。日本のノーベル賞級の研究も数十年前からの基礎研究の成果と言われています。しかし以前に国は成果主義を唱え、直ぐに成果の出る研究に予算付けし基礎研究には予算が厳しくなっていると聞きます。この結果基礎研究がしづらくなり、頭脳の海外流出にも繋がり将来の日本にとってはマイナスです。基礎研究できる環境を良くすべきです。二酸化炭素の地球温暖化研究でノーベル賞の真鍋博士も地道な基礎研究を行いました。

南栗橋8丁目周辺地区のまちづくりプランが本市と関係事業者により策定され、工事が始まりました。戸建て住宅が建設され、商業施設も開設される予定です。併せて道路・公園の改修により景観の向上と人に優しい空間の創出が図られます。

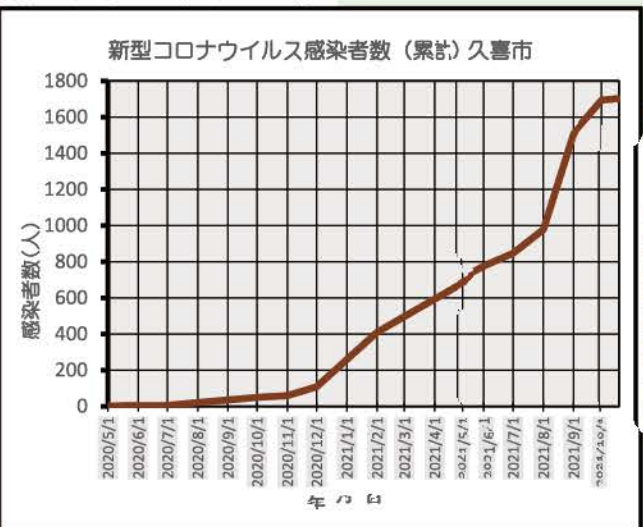
（市の公開資料より作成）



② 園路の改修・遊具の設置を検討（子どもと大人が安全に楽しく）  
③ ベンチ・テーブルなど休憩施設を検討

久喜市と東武鉄道（株）の間に包括連携協定書が10月26日に締結されました。1月には本市と東武鉄道、イオンリテール（株）、トヨタホーム（株）、早大研究所の先生との間で協議が行われる予定です。令和4年春頃街ひろきイベント開催予定、令和5年度以降既存の道路や公園の改修予定となっています。

久喜市の感染者数の推移。今年になって増加、特に8、9月急増し10月に止まりました



## 洪水災害時のバス運行

避難所のバス運行 災害時以下の避難所から総合運動公園など2次避難所までバスが運行されます：

栗橋小学校 栗橋南小学校 栗橋西中学校  
栗橋東中学校 県立栗橋北彩高校  
鷺宮東中学校 東鷺宮小学校

なおこれら避難所の収容人数は極めて限られていますので早めの広域避難が勧められています

## 事業者への給付金 追加補正予算(9月)

緊急事態宣言措置又はまん延防止等重点措置に伴う自粛等により影響を受けた事業者への支援金6,750万円が予算化されました。（一般会計補正予算第8号）  
対象業種：タクシー、理容、美容院、飲食店、酒類販売店等。  
業績：前年度同月より50%以上悪化していること  
対象事業者の規模：個人経営、小規模店、資本金10億円以下で従業員 2000人以下の企業。  
給付額：個人事業者上限10万円 中小法人20万円

## 新型コロナウイルス感染症自宅療養者等支援事業

自宅療養を余儀なくされる方に対して、パルスオキシメーターの貸与、衛生用品および食料品を梱包した「自宅療養パック」の配布を行う、ものです。市は迅速な支援を行えるよう対応しています。

パルスオキシメーターの貸与は田村栄子が2月、6月及び9月議会で提案していました。

暮らしと政治を結びます！



ご意見を賜ります。皆様からの貴重な叱責・ご意見を真誠にあたりありがとうございます。

## 感染から身を守るには

人ごみを避け、人との接触を極力避けましょう。マスクをしていても接近しての会話は控えましょう。部屋の換気を良くしましょう。マスク着用 手指の消毒励行。咳・くしゃみのエチケットを守りましょう。

# 田村栄子の議会質問

一部抜粋 構成

議会では、毎回皆様の声を代弁して質問しています。市民の元気につながる質問をしていきたいと考えます。「こんなこと聞いて欲しい」という方はお知らせ下さい。



令和3年9月議会は8月31日～9月30日に行われました。田村栄子の一般質問（9月6日）と市回答の内容です。

## 新型コロナウイルス感染症の拡大抑制対策を

## 災害対策の強化

問 久喜市内の新型コロナウイルス感染者数がデルタ株に変異し急増し9月はじめには1300人を超えた。市内自宅療養者数の推移はどのような。仮設病床等を整備し自宅療養者を減らすべき。病状判定のためパルスオキシメータを貸与すべき、いかがか。  
答 自宅療養者数は8月から急増し9/1現在140人。病状判定のための埼玉県は陽性判明時に3日程度でパルスオキシメータを届けている。保健所が急を要すると判断した人にはパルスオキシメーターを市が迅速に直接届けることにした。また自宅療養者への食料品の配布も始めた。病床整備は埼玉県において計画的に実施されている。

問 陽性者把握のため、PCR検査を積極的に行っている自治体が多い。久喜市でも行政でPCR検査・抗原検査を拡充すべき。

答 医療機関で発熱等の症状がある人の診察により医師が必要と判断した際にPCR検査が実施されているので市では考えていない。

（意見）無症状者を含めた全体を把握するか、症状の現れた感染者だけを把握するのか、危機管理の意識の問題である。感染撲滅のためには、前者を目標として行政検査を行うべきことを市は理解して欲しい。

問 小中学校職員のワクチン接種率はいかがか。

答 希望者優先で行っており、約80%が終了している。

問 市内小中学校への空気清浄機の設置は各学校に職員室に1台配置と聞いているが、その他の教室の換気対策はどのようなか。

答 教室の窓を2方向に同時に開けるとともに、令和2年より扇風機をまわしている。

問 後遺症の深刻さを市民に伝えるべきだが、いかがか。

答 後遺症の実態調査・疫学調査を国が実施し、後遺症の外来診察を県医療機関（呼吸器系、皮膚科、耳鼻咽喉科、精神科等）で開設準備中。市は情報が整い次第HPで周知に努める。

## 済生会栗橋病院の移転後跡地への新病院開設予定について

問 済生会栗橋病院が令和4年に6月加須市に移転予定だ。新型コロナウイルス感染症対応等もあるが、予定が変更されることはないか。また跡地での秋谷病院の開設進捗状況を伺う。

答 済生会栗橋用意の移転は今のところ令和4年6月予定で変更はない。秋谷病院は施設改修計画等を検討中である。

（意見）新病院がスムーズに開院できるように市は動いて欲しい。

## 小・中学校のSDGsの取り組みは

問 SDGsへの市内小中学校の取り組みは如何か。

答 各学校がそれぞれ特色を活かしてSDGsの目標に取り組んでおり、意識の高揚が図られている。

## 公共施設の統廃合 新市庁舎新築計画

市の公共施設個別施設計画が発表されています。これによると、行政サービスの維持向上や市民ニーズに応えるため、市の老朽化施設の統廃合・余剰施設の複合活用・施設の新築などを長期計画で行うものです。市役所は現在のものは除却し新庁舎を「新総合複合施設」として建設しその中に他の機能も一緒に移すという計画です。また各総合支所は機能を縮小見直し、栗橋総合支所は現建物は老朽化で除却し、栗橋市民プラザを新築する。また

災害情報伝達方法は――防災ラジオを導入の提案  
問 災害時に防災行政無線の放送を市民に確実に伝えることは、命を守るため重要。今の同放送は窓を開けているとよく聞こえない。暴風時は窓は開けられない。市はメール配信、SNS、電話音声応答サービス、緊急情報架電システム等の手段を用意している。しかし、全市民への伝達には限界があり高齢者には伝達漏れが出る。最も簡単な方法が「防災ラジオ」の市民への貸与であり加須市は既にこれを行っている。久喜市はデジタル無線方式に変更したのでラジオに対応していないとのことだが今後対応するにはどのような問題と課題があるのか伺う。ラジオ貸与を導入すべき（これまで2回質問した）。

答 防災行政無線はデジタル化したため、ラジオに接続できない。防災行政メールで補完する。

（意見）現システムはデジタル化とはいったが、災害時音声が届かない。市民の安全のため別に防災ラジオを導入すべき。

洪水時の避難行動は――市民の避難意識はどうか

「洪水避難決断ブック」が市民に配布され自分の命を自分で守る「自分での判断」に今まで以上に理解が得られているものと思う。以下その効果の評価を伺う。

問 コロナ禍もあり避難所収容人数は人口の1-2割しかない。人と人を取る必要があり栗橋地区では住民の1割しか避難できない。事実上大部分の人は避難所以外で、広域避難（分散避難）若しくは在宅避難を取らざるを得ない。また、栗橋地区の住宅地の大部分は洪水時は自宅滞在不可で長時間浸水が続くと思われる土地である。これらを住民意識としてどれ位理解されていると考えるか。調査等は行ったか。市民が「自分の命は自分で守る」ため市民の理解が重要である。  
答 今はまだ調査していないが、今後啓発に努める。

（意見）避難所の収容能力やコロナ禍での密集自粛などのことは住民が十分理解し知っておくことが重要。どの程度理解されているかを把握することは、今後安全確保にとって必要かつ重要と考える。市はアンケート調査などを実施すべきだ。

問 洪水避難決断が一目でわかる壁張り用A1ポスター版の作成を。住民の避難迅速判断のために。

答 今は考えていない。HPから洪水避難決断ブックの各家庭の用途に合わせて、印刷活用を勧める。

問 「マイ・タイムラインは有効活用にあたって練習が必要だが、この啓蒙はどのように考えているか。また自宅の浸水リスクの確認のため「浸水ナビ」は有効と考えるが、使い方について希望者には技術指導をすべきと思うが。如何か。

答 出前講座を考えている。

現鷲宮総合支所建物は、教育支援施設・生涯学習施設を有する複合施設として継続使用する、という計画です。

市役所に入る新総合複合施設は土地代等別で建設費85億円かかるという試算があります。しかし既に現市庁舎は耐震化工事に約10億円かかっており無駄はできません。計画には公共施設の一部を民間譲渡し民営化する方針も含まれていますが運営の問題、市民サービスの維持のためこれらは慎重な検討が必要と考えます。

暮らしと政治を結びます！